

臨港警察署管内で・・・

～熱中症に伴う労務災害が連続発生！～

臨港署管内において、仕事中に熱中症になり救急搬送される事案が連続発生しています！！

熱中症とは・・・

汗をかくことで、体内の水分や塩分が減少し、血液の流れが滞るなどして、体温が上昇し、めまい、けいれん、頭痛、吐き気、意識消失などが起こります。



☆ こまめに水分補給をしましょう！

のどが渴いていなくても、こまめに水分補給し、大量に汗をかいた後は、塩分も補給しましょう。

☆ 作業時の注意事項！

作業管理者は作業開始前に、作業者の体調を確認し、体調が悪い人には作業させないようにしましょう。

作業状況等をこまめに確認し、体調不良が疑われる場合には、涼しい場所での休憩を指示しましょう。

作業者はできるだけ二人以上でお互いの体調を確認しながら作業を行いましょう。

水の事故の未然防止対策

① 気象情報を確認しましょう。

気象情報を事前に確認し、注意報や警報が出ていないか確認しましょう。悪天候が予想される場合は、無理をせず、中止や延期を検討しましょう。

② 健康管理に気をつけましょう。

体調が悪いときや、お酒を飲んだときなどは、海や川などに入らないようにしましょう。

③ 遊泳時の安全を確保しましょう。

危険区域や遊泳禁止区域では遊泳せず、遊泳できる場所でも、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳しましょう。海では、岸に近いところでも、沖へ流れるとも速い潮の流れ(離岸流)があったり、川では、地形によって、川底に深みがあったりするため、急に流されたりする危険があります。

④ 保護者が付き添いましょう。

子どもを水遊びさせるときは、保護者等が付き添い、絶対に目を離さないようにしましょう。

⑤ ライフジャケットを活用しましょう。

遊泳、釣りやボートに乗るときなどは、ライフジャケットを必ず着用しましょう。ライフジャケットは、体のサイズに合ったものを選び、正しく着用しましょう。



ふ
と
う

博多臨港警察署
Tel.092-282-0110



発生状況 (7月25日 時点)	年間累計
-----------------------	------

人身事故

2件 / 33件

物件事故

37件 / 246件

屋内盗難

0件 / 2件

屋外盗難

1件 / 34件